令和５年４　月 12　日

令和４年度「熊本大学病院医療助成金」使用実績報告書

（一般財団法人恵和会寄附金）

使用者（代表者）	氏　　名	所　　属	職　　名
	野坂生郷	外来化学療法センター	教授
グループ全員＊記入欄が不足する場合は、別紙に記入	南里　知子	がんセンター	診療助手
	岡本　泰子	ケアサポート室	看護師長
	立津　央	血液内科	講師
	河野　和	血液内科	助教
	稲尾　瞳子	乳腺、内分泌外科	助教　以下別紙参照
研究テーマ若しくは活動テーマ	乳がん、リンパ腫、骨髄腫治療マニュアルの作成		
助成金額	400,000　円	助成金使用総額	400,000　円

使用内訳

消耗品　7,096円　（内訳）事務用品：7,096円
旅費　円　（内訳）
その他　392,904円　（内訳）印刷製本費：379,984円、図書費：11,880円、郵送料：1,040円

成　　果(※具体的な効果および自己評価も含め1,000字程度)

外来化学療法センターを中心とした医療スタッフに加え、管理栄養士、診療報酬室とも協働し、レジメンガイドブックを作成した。がん薬物療法が多く施行されている乳がん(51レジメン)、悪性リンパ腫（24レジメン）、多発性骨髄腫（6レジメン）の治療についてのプロトコール、及び治療スケジュール、施行上の注意点について記載した。さらに各薬剤についての概要について詳細に記載している。また副作用や免疫チェックポイント阻害薬の副反応対策について掲載し、管理栄養士による食事についての注意点やフローシートについての情報も記載した。経済的側面にも配慮した各レジメンに使用される薬剤費なども記載した。今回の治療マニュアルでは、同レジメンにおいても各クールごとに投与法などが異なる場合は分けて記載しており、通常診療の中で使用できるハンドブックであると考える。

別紙

氏名	所　属	職　名
野坂　生郷	外来化学療法センター	教授
南里　知子	がんセンター	診療助手
岡本　泰子	ケアサポート室	看護師長
立津　央	血液内科	講師
河野　和	血液内科	助教
樋口　悠介	感染免疫診療部	助教
稲尾　瞳子	乳腺、内分泌外科	助教
西郷　智香	薬剤部	薬剤師
中村　純平	薬剤部	薬剤師
前田　夕貴	薬剤部	薬剤師
坂本　慎弥	薬剤部	薬剤師
村田　夕起子	薬剤部	薬剤師
中村　和美	薬剤部	薬剤師
政　賢悟	薬剤部	薬剤師
長瀬　博美	栄養管理部	栄養士
森　奈緒美	外来化学療法センター	副看護師長
中村　みつる	外来化学療法センター	看護師
福岡　文菜	外来化学療法センター	看護師
大塚　智佳子	外来化学療法センター	看護師
坂田　千穂	外来化学療法センター	看護師
鎌田　あき	外来化学療法センター	看護師
尾崎　香代	外来化学療法センター	看護師
吉田　美緒	外来化学療法センター	看護師
山下　真紀子	外来化学療法センター	看護師
別府　奈見	外来化学療法センター	看護師
稲生　杏里	外来化学療法センター	看護師
東平　ひかる	外来化学療法センター	看護師
御手洗　美貴	医事課　診療報酬指導室	事務職員
松本　恵美子	医事課　診療報酬指導室	事務職員
日迫　優子	医療サービス課	事務補佐員

熊本大学病院

レジメンガイドブック

[悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・乳がん編]

Kumamoto University

Regimen Guidebook

2023年3月

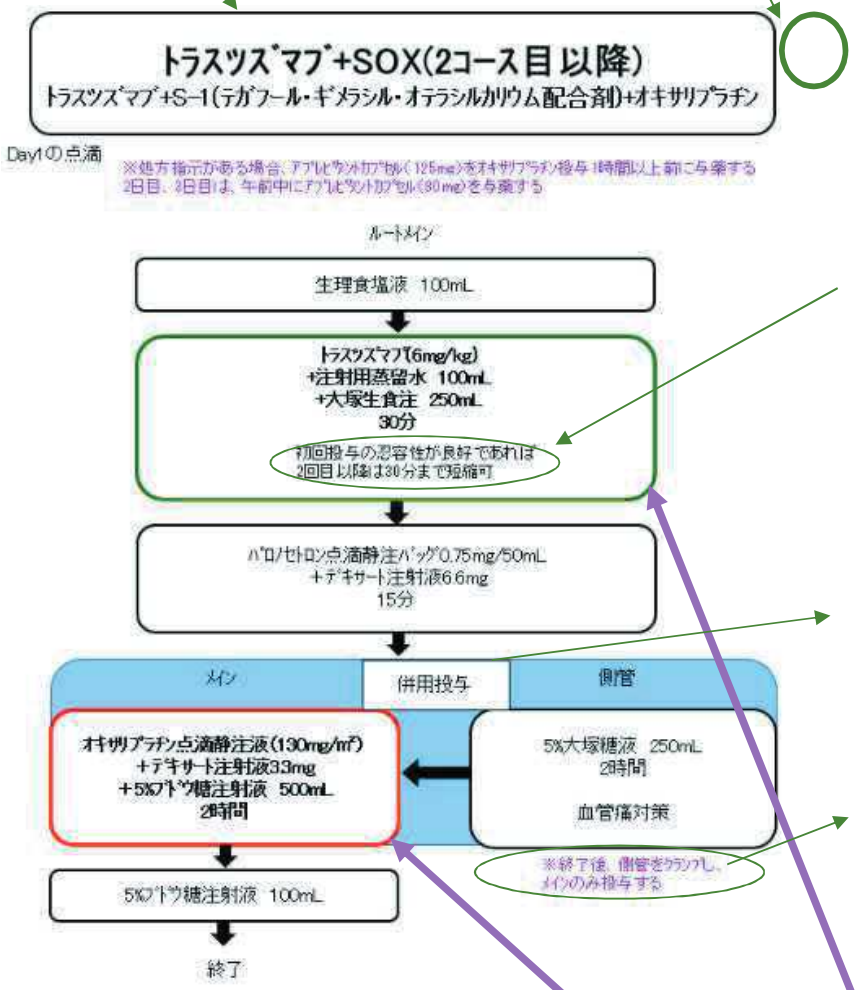
【レジメン表の見方】

レジメン名
一般名（商品名®）

○枚目／総ページ数

＊投与速度について
投与回数によって投与時間や投与速度が異なるレジメンは、コメント指示 ✎ があります

※過敏症やインフュージョン・リアクションの状態、リスクの程度により投与時間や投与速度が異なる場合もあるため、医師指示の確認が必要です



＊「忍容性」とは
薬剤を投与した際に現れる副作用の程度を示したもののことで、安全性を示すために用いられます
副作用が耐えられる軽度のものであれば、忍容性が良好（高い）と表されます

＊併用投与
メインルートと側管ルート同時に点滴します

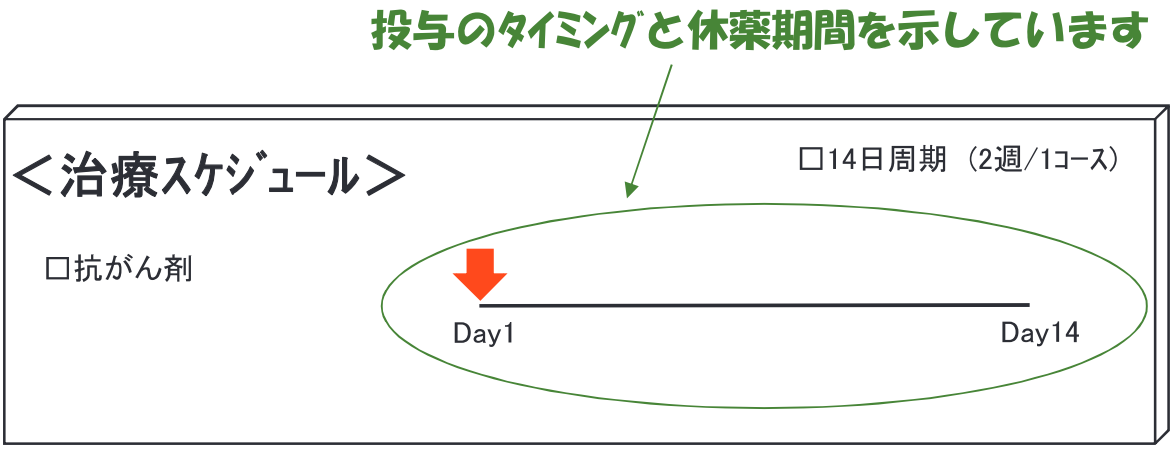
＊曝露対策として
抗がん剤が流れた点滴ルートは、終了後クランプし、接続部からはずしません

＊曝露対策として
抗がん剤終了後指示された補液で点滴ルート内の薬液を流し、抜針します

《注意点》
点滴ルート内に残った抗がん剤を流す間の補液を投与する速度は、抗がん剤と同じ速度が望ましいです

抗がん剤の種類を色分けしています

- 免疫チェックポイント阻害薬
- 分子標的薬
- 細胞障害性抗がん剤
- 抗体薬物複合体



＜施行上の注意点＞

がん薬物療法時は、薬剤で使用する点滴ルート・血管外漏出時の組織障害性に基づく分類・過敏症の出現リスクが高い薬剤・インフュージョン・リアクションの出現リスクが高い薬剤・薬剤の安定性・抗がん剤の催吐性リスク分類・治療における脱毛の生じやすさについて、以下の文献を参考・引用して記載しています。

血管外漏出時の 組織傷害性に基づく分類	1)医薬品医療機器総合機構,医療用医薬品の添付文書情報 (https://www.info.pmda.go.jp/psearch/html/menu_tenpu_base.html) 2)濱敏弘(監修),がん化学療法レジメン管理マニュアル第3版, 医学書院,2019 3)国立がん研究センター内科レジデント(編),がん診療レジデントマニュアル 第8版,医学書院,2019 4)日本癌治療学会(編),制吐薬適性使用ガイドライン,第2版, 金原出版株式会社,2015 5)国立がん研究センター看護部(編),国立がん研究センターに学ぶ がん薬物療法看護スキルアップ,南江堂,2018 6)がん患者の外見支援に関するガイドラインの構築に向けた 研究班(編),がん患者に対するアピアランスケアの手引き, 金原出版株式会社,2016 7)日本薬剤師会,抗悪性腫瘍剤の院内取扱い指針,抗がん剤 調整マニュアル第3版,株式会社じほう,2014 8)熊本大学病院医療安全管理ポケットマニュアル第9版,令和3年4月 9)がん診療ガイドライン　日本癌治療学会 (http://www.jsco-cpg.jp/) 10)Brentuximab Vedotin with Chemotherapy for stage Ⅲ or Ⅳ Hodgkin's Lymphoma (Connors JM et al.Engl J Med.2018;378(4):331-344.) 11)がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン　2023年版, 金原出版株式会社 12)NCCN Guidelines Version 1.2023 Antiemesis
過敏症	
インフュージョン・リアクション	
薬剤の安定性	
抗がん剤の 催吐性リスク分類（※）	
脱毛の生じやすさ	

※催吐性リスク分類の記載がない場合は、悪心・嘔吐の頻度（%）を記載しています。

制吐剤（ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ®）について

「**施行上の注意点**」の「**抗がん剤の催吐性ﾘｽｸ分類**」において

・高度ﾘｽｸの場合

・中等度ﾘｽｸの薬剤でもいくつかの薬剤を組み合わせた
治療によっては高度ﾘｽｸとなる場合

> ※　処方指示がある場合
> ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ(125mg)を
> 抗がん剤投与1時間以上前に与薬する
> 2日目、3日目は、午前中に
> ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ(80mg)を与薬する

ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ®
（3日分）

ﾚｼﾞﾒﾝ表にこのようなｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ内服に関する注意書きがあります。
処方（入院）や処置（外来）のｵｰﾀﾞを確認しましょう。

【与薬のﾀｲﾐﾝｸﾞについて】

1日目の分（125mg 1ｶﾌﾟｾﾙ）は、催吐性ﾘｽｸが高い薬剤を点滴する原則１時間以上前に与薬します。
2日目、3日目は、午前中に与薬します。

ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄｶﾌﾟｾﾙ®
（1日分80mg）

【ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ・ﾎｽﾈﾂﾋﾟﾀﾝﾄ（注射薬）について】

嚥下困難や通過障害など内服困難な場合や認知力低下に伴う内服忘れなどがある場合に、内服から注射剤に変更になることがあります。

＊ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ（ﾌﾟﾛｲﾒﾝﾄﾞ®）は末梢からの投与で
血管痛や静脈炎の出現報告があります。

＊ﾎｽﾈﾂﾋﾟﾀﾝﾄ（ｱﾛｶﾘｽ®）は配合変化が少なく、
他の制吐剤と同時に混注が可能です。
また、ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄのような
注射部位反応のﾘｽｸもありません。

ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ®
（150mg）

ﾎｽﾈﾂﾋﾟﾀﾝﾄ®
（235mg）

点滴抗がん剤のCSTD

閉鎖式薬物移送システム
CSTD（closed system drug transfer device）とは

薬剤を調製・投与する際に、外部の汚染物質がシステム内に混入することを防ぐと同時に、液状あるいは気化/エアゾル化したHD＊が外に漏れ出すことを防ぐ構造を有する器具

（＊HD：Hazardous Drugs：曝露によって健康への有害な影響をもたらすか、または疑われる薬品）

「がん薬物療法における職業性曝露対策ガイドライン」2019年版.
日本がん看護学会、日本臨床腫瘍学会、日本臨床腫瘍薬学会　編

【対象薬剤：下記3剤を含むレジメンの抗がん剤】

①シクロホスファミド（エンドキサン®）
②イホスファミド（イホマイド®）
③ベンダムスチン（トレアキシン®）

薬剤部製剤室からの払い出しと　病棟での準備品

製剤室からの払い出し
①生理食塩液②抗がん剤

最初の生理食塩液と抗がん剤以外の点滴は病棟で準備

接続/解除しても曝露しない

ファシール　スパイクセット

病棟での準備品

カーディナルヘルス社：
Cカニューラ付き
延長チューブ
Cカニューラ（単品）
は使用しない

外れないようねじ込む

ファシール　輸液セット

★スパイクセット付の生理食塩水が払い出されたら、CSTD使用のレジメンのためファシールを準備する
①側管プライミング用の生理食塩液：薬剤部でスパイクセット付で払い出し
＊前投薬の指示薬：病棟でスパイクセットを刺す
②抗がん薬：薬剤部でスパイクセット付で払い出し
＊フラッシュ用の生理食塩液：病棟でスパイクセットを刺す